

事務事業評価資料

施策名	観光ツーリズムの推進		所管部局課名	産業労働部観光・国際局観光振興室					
事業名	兵庫県大型観光交流キャンペーン実施事業		担当者電話番号	大型観光交流キャンペーン推進担当 078-362-3836					
事業目的	JRグループとのタイアップ事業(デスティネーションキャンペーン:DC)を中核事業に据えた大型観光交流キャンペーンを実施することにより、より多くの観光客の誘致を実現し、本県観光ツーリズムの振興と県内各地域の活性化を図る。								
事業内容	兵庫県大型観光交流キャンペーン推進協議会が実施する事業へ負担 総事業費:2.5億円(うち県費1億円)					事業開始年度	平成19年度		
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(5,000千円) 5,000千円		(63,000千円) 63,000千円		(32,000千円) 32,000千円			
	人件費	17,828千円	従事人員 2.0人	16,942千円	従事人員 2.0人	8,360千円	従事人員 1.0人		
	総コスト(+)	22,828千円	従事人員 2.0人	79,942千円	従事人員 2.0人	40,360千円	従事人員 1.0人		
事業の目標	主要観光施設入込数の増			[目標設定理由] ・大型観光キャンペーンの実施による観光客の誘致を図ることから、主要観光施設における入込数の増加を目標とする。 ・目標値は近隣県DC実績を踏まえ、前年対比10%増加を目標とする。					
	県外からの観光客入込数の増加(H21)			[目標設定理由] ・大型観光キャンペーンの実施による観光客の誘致を図ることから、キャンペーン実施年度である21年度における県外からの観光客入込数の増加を目標とする。 ・目標値は過去のDC開催県の実績を踏まえ、前年対比5%増加を目標とする。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	H21、4月~6月の主要観光施設入込数	対前年比10%増	H21年度	-	-	-	-	-	-
21年度の観光客総入込数	対前年度比5%増	H21年度	-	-	-	-	-	-	
評価結果	必要性	・地域活性化を図るためには、ツーリズムの推進による交流人口の増加が必要である。 ・経済の減速等により旅行意欲が減退している現状を考慮すると、大規模なキャンペーンによる誘客促進を図る必要があるが、JR西日本等とタイアップした大型観光交流キャンペーンの実施は、観光客の本県への誘致に大きく寄与し、ツーリズム人口の増加が期待できる。							
	有効性	・観光客入込数の20年度見込が不明なため、この後の推移を見守る必要があるが、JRグループとタイアップした事業実施は、観光客を増加させ、大きな経済効果をもたらす、地域経済の活性化に寄与すると考える。							
	効率性	・指標1単位あたりのコストは、観光客入込数の20年度見込が不明なため、この後の推移を見守る必要があるが、県・市町・民間が応分の負担をすることにより、効率的な執行を図るようにしている。 ・また、JRグループが有する販促のノウハウや宣伝媒体を活用できることから、県が単独で行うよりも効率的である。							
	民間・市町との役割分担	・県は誘客促進のための広報宣伝を行い、市町等は観光客を受け入れるための体制整備等を行うこととしている ・なお、大規模な交流キャンペーンを行うことで地域活性化につなげるためには、県が主導的に実施する必要がある。							
	受益と負担の適正化	・地域の活性化に資することから負担割合を県:市町=1:1としているほか、観光関係企業や団体でも様々な事業が展開される。							
方向性	新規	拡充		継続		実施手法の見直し			
	廃止	縮小		統合		凍結(休止) 延長 終期設定			
実施手法の見直し内容	市町移譲 民間移譲 民間委託 PFI 負担割合変更 事務改善 その他								
説明	当キャンペーンはH21年4月~6月が本キャンペーンでありその成果を確実なものとするため、更なる誘客を図る観点から、H21年度において継続して実施する。								